

令和4年度 学校評価 集計結果と今後の方針 (分教室)



回答率	保護者	54%	77%
	教職員	100%	

* 保護者： B部門（分教室）保護者

学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

令和4年度 学校評価 集計結果とまとめ

(1) 4段階の評価をプラス評価（4、3）とマイナス評価（2、1）とし、未記入を加え、表示しました。

(2) 全体合計（協議委員、保護者、教職員合計）において、以下の割合に基づき、各取組の評価を行い、評価記号を付けました。

① マイナス評価10%未満（◎）

② マイナス評価20%未満（○）

③ マイナス評価25%未満（△）

④ マイナス評価25%以上（▲）

⑤ 全体評価のマイナス評価は少ないが、未記入が10%以上であり、プラス評価も高いとは言えない（□）

⑥ 教職員の未記入が10%以上であり、校内の理解啓発取組が早急に必要（■）

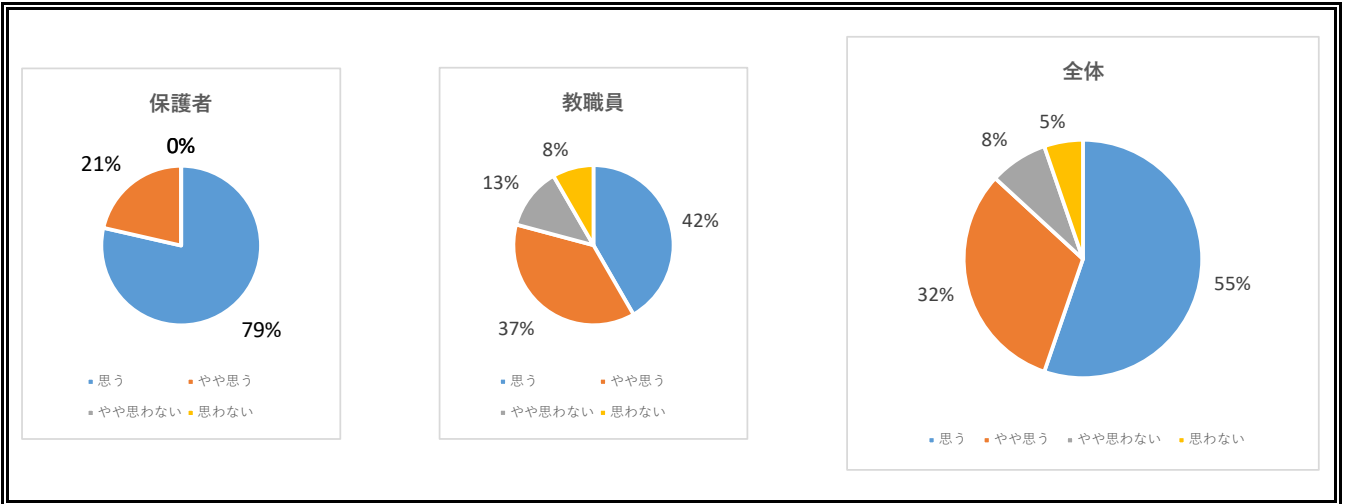
⑦ 保護者の未記入が10%以上であり、保護者への理解啓発取組が早急に必要（◆）

(3) 回答用紙に書かれた意見や課題（抜粋）では、個人が特定できないように表現を改めるとともに、内容を一部要約しています。

■ 最重点目標 1 学園生が一体感と誇りをもてる教育活動の展開

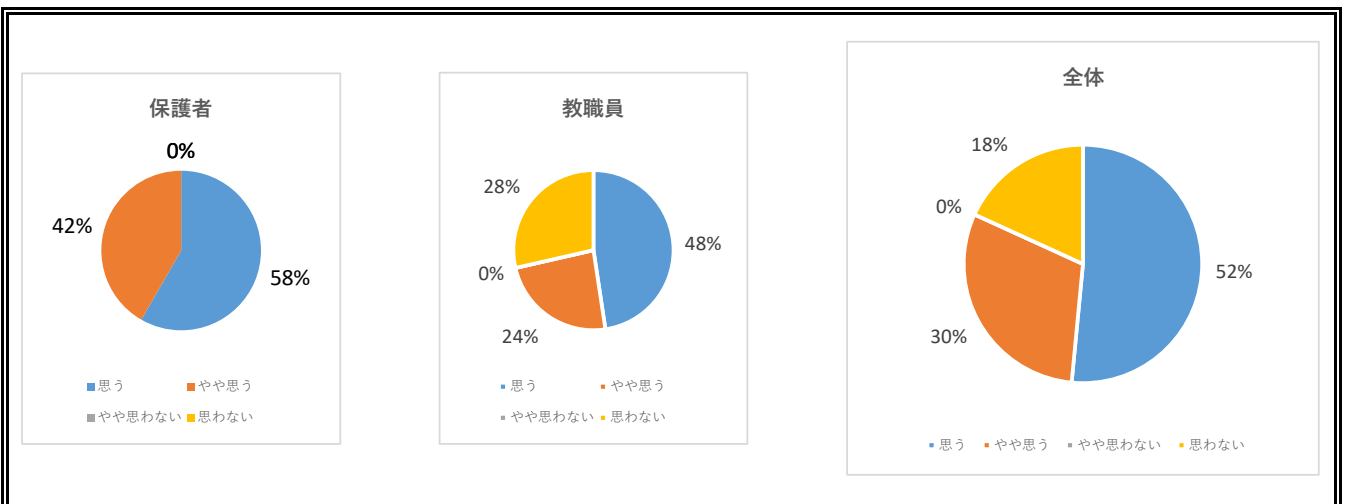
Q1

【設問】	そよ風分教室や病院訪問の児童・生徒が病状に応じた交流を通し、学園の一体感を感じられる教育活動を進めることができますか。
【取組】	入学を祝う会・卒業式・始業式・終業式の実施、そよ風ライブ（10月27日）・そよ風作品展（11月7日～11月14日）、光明アートギャラリー・全校美術表彰・光美展（12月）・全校書道表彰・光書展（1月実施予定）
【評価】	【分析】
○	病院との連携を大切にしながら、病状に合わせた交流を通し、学園が一体感を感じられるように実施しています。



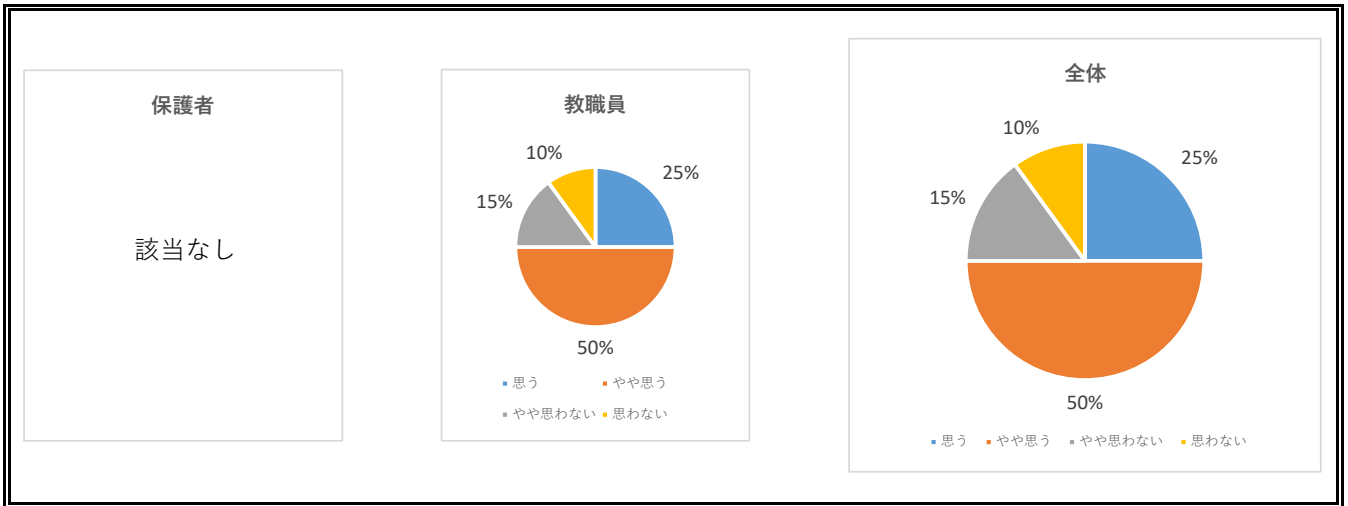
Q2

【設問】	HP（ホームページ）やTwitter（ツイッター）、リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていますか。
【取組】	HP及びTwitter更新や、敷地内・梅ヶ丘駅構内掲示板による情報発信（随時）、各種学校通信・全校保護者会通信の発行
【評価】	【分析】
○	ホームページやTwitterによる情報発信や、保護者へ向けたFairCastでの連絡、紙配布の学校通信等、さまざまな形態を用いて、迅速に必要な情報を発信していきます。



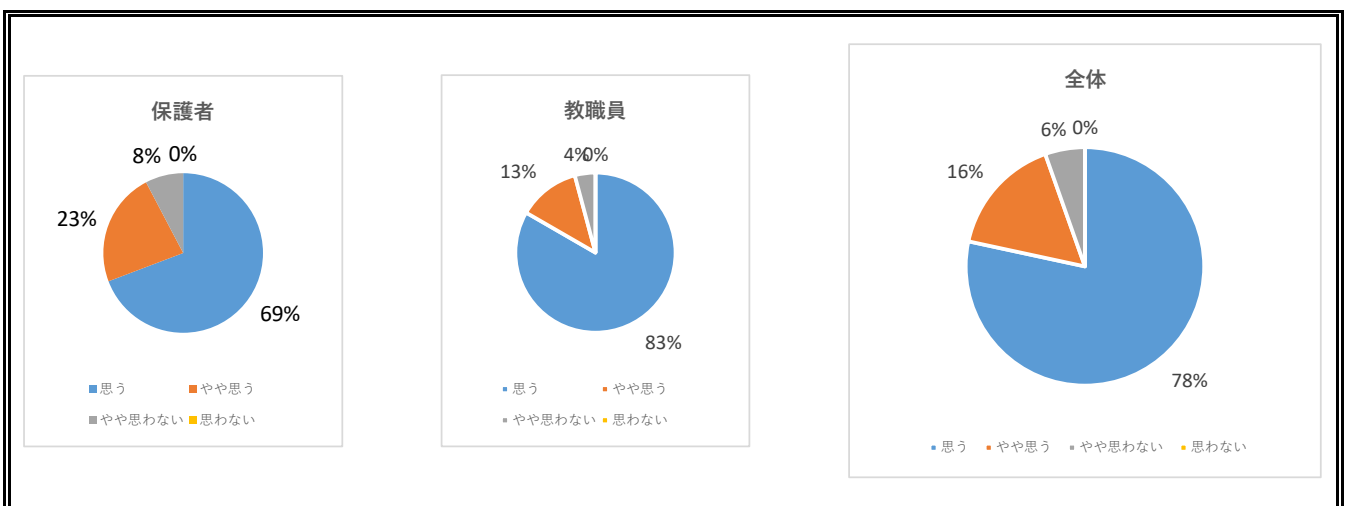
■ 最重点目標 2 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上
Q3

【設問】	時間外勤務の把握や業務ミッションの共有により、ライフワークバランスを踏まえた業務改革を実行することができましたか。
【取組】	働き方改革につながる業務改善提案の積極的導入、主任・主幹・指導教諭業務ミッション一覧の掲示と業務上の課題共有による機能化、学年主任のリーダーシップの発揮による学年経営
【評価】	【分析】
○	現在、教職員の超過勤務が課題となっています。さらに業務の見直し、効率化を進めて、ライフ・ワークバランスを推進していきます。



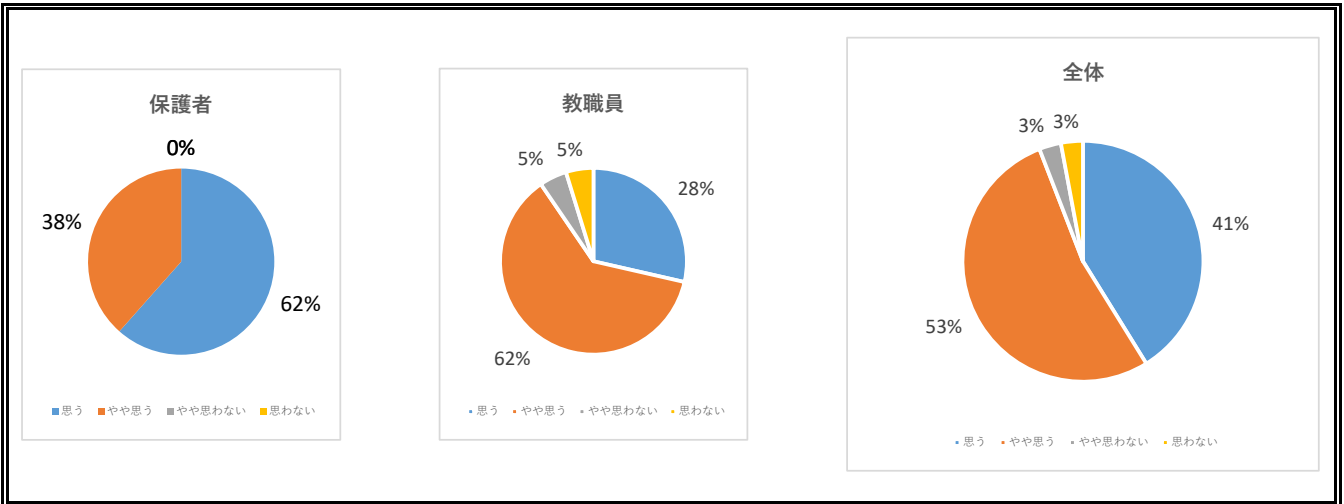
■ 最重点目標 3 専門性のある人材を活用した教育の充実
Q4

【設問】	そよ風分教室、病院訪問は、病院（医療関係者）と連携して指導、支援が行われていますか。
【取組】	医療スタッフと連携した、治療や健康状態に合わせた児童・生徒の学習支援と心理面のサポート等、オンライン研修の学びを生かした授業づくり
【評価】	【分析】
◎	毎日の学習や復学カンファレンスなど、病院（医療関係者）と連携しながら、必要なサポートを行っています。



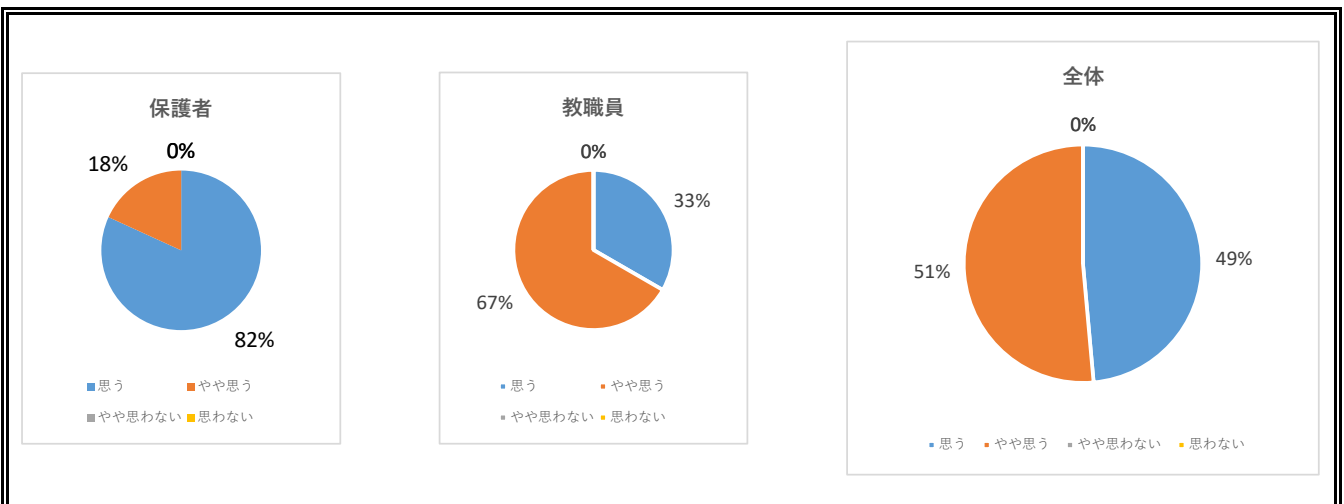
■ 最重点目標 4 授業力の向上 個別学習等の「個に応じた学習評価」の力量形成
Q5

【設問】	オンライン研修の導入や授業者支援会議、外部専門家等を活用し、授業力向上を推進することにより、児童・生徒の個別指導が充実し、基礎的学力が向上していますか。
【取組】	オンライン研修の導入、各学習グループ年次研修対象者（該当者無しの学習グループは1人選出）の授業者支援会議年50回実施、指導実技型授業力向上研修の実施、授業参観ガイド作成等による説明力の向上、国数基礎学習の指導、教材の充実
【評価】	【分析】
◎	オンライン研修や、授業者支援会議は、教職員の資質向上に役立っています。研鑽したことを、「個に応じた学習の指導」に生かし、学園生の学びにつなげていきます。



■ 最重点目標 5 専門性発揮・向上による特色ある教育の推進
Q6

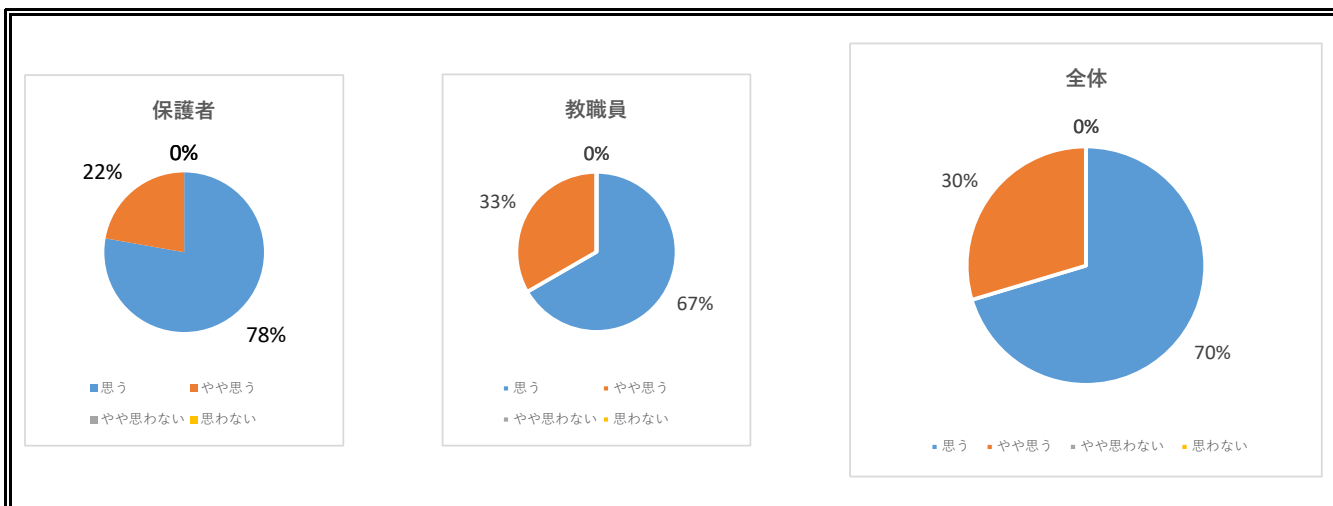
【設問】	ICT機器や支援機器を効果的に学習指導に活用し、表現力などのコミュニケーション力を高めていますか。
【取組】	図書環境の整備と読書活動の展開、2020レガシーとして地域貢献（アサガオプロジェクト）、GIGAスクール構想の推進、タブレット型端末、教育用ICTパソコン、分身ロボット、オンライン授業、スイッチ、コミュニケーション機器等の活用、各種検定挑戦のサポート
【評価】	【分析】
◎	GIGAスクール端末の導入(病訪)、オンライン学習の拡充等により、ICTを活用した学習が広がりました。



■ 最重点目標6 学園生が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

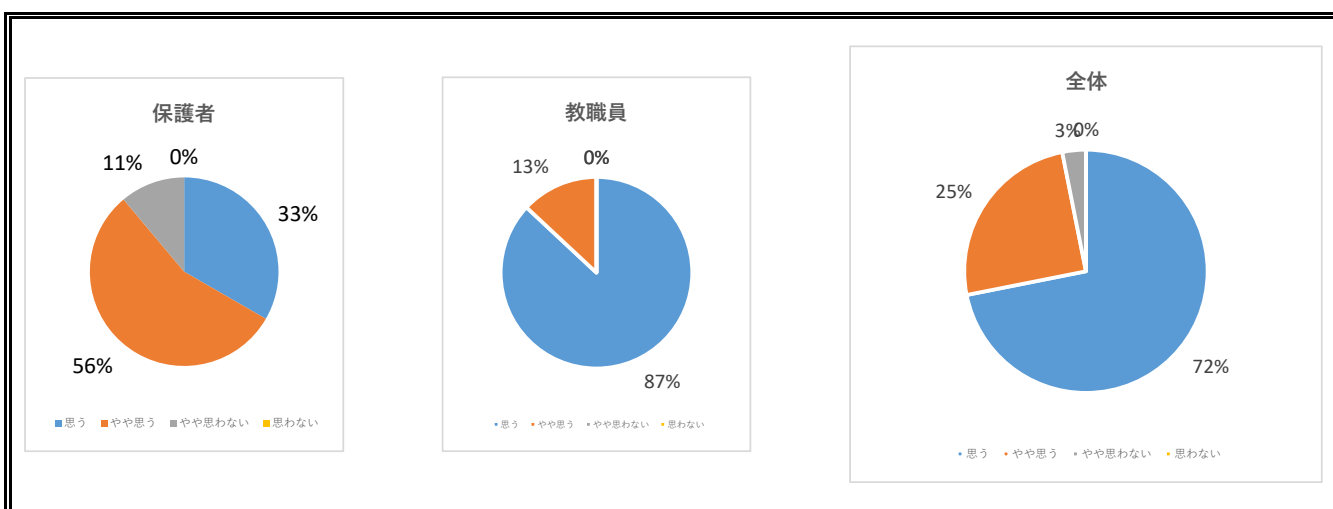
Q7

【設問】	いじめ・体罰防止、自殺防止に向けて、学校全体で適切な指導が行われていますか。
【取組】	服務事故防止研修の実施、いじめ・体罰・自殺防止対策委員会の定例開催、体罰調査の実施、相談窓口の情報提供、「ふれあい月間」のいじめ防止シート作成
【評価】	【分析】
◎	毎週「いじめ・体罰・自殺防止会議」を開催し、気になる小さな芽を拾うようにしています。また、教職員の人権意識の向上に向け、啓発していきます。



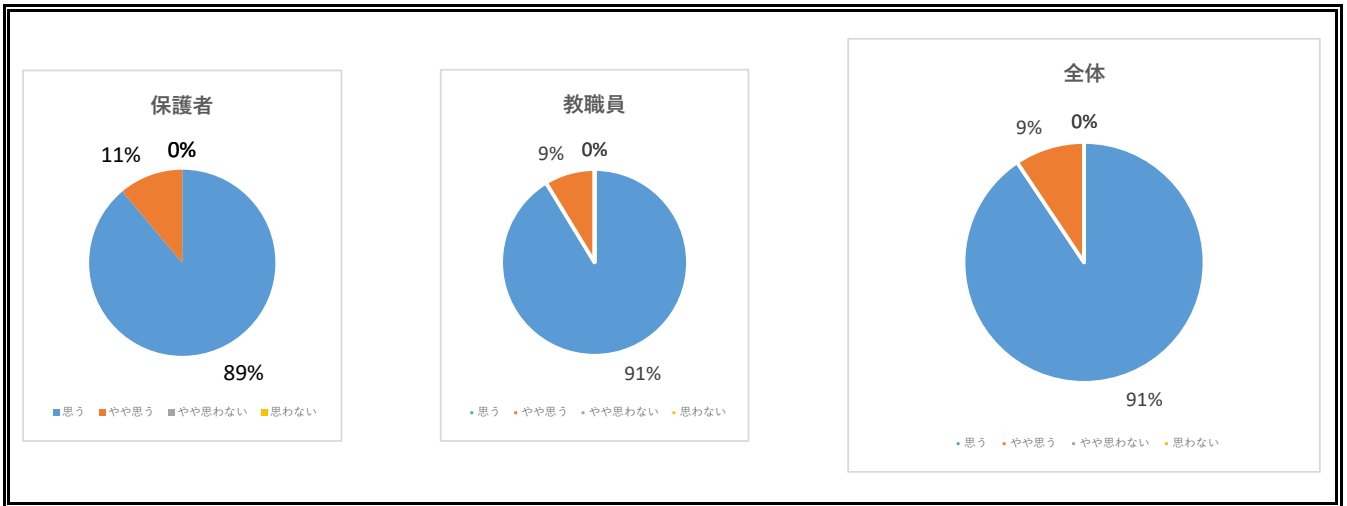
Q8

【設問】	校内で児童・生徒が事故や怪我をしないように、また、感染予防に配慮した学びの環境ができていますか。
【取組】	病院の感染制御室の指導に基づいた、教室環境作り。（座席の位置・アクリル板の設置など）、安全指導日の設定と指導、セーフティー教室の実施、分教室・院内学級室の環境整備、クリーンデスクデイ・環境整備デイの計画的な設定
【評価】	【分析】
◎	教室内や廊下、トイレなどの消毒作業を登校前、昼、下校後に行っています。また、毎日の清掃の他、定期的に環境整備を行うことで、学園生が安全に学校生活を送れるようにしています。



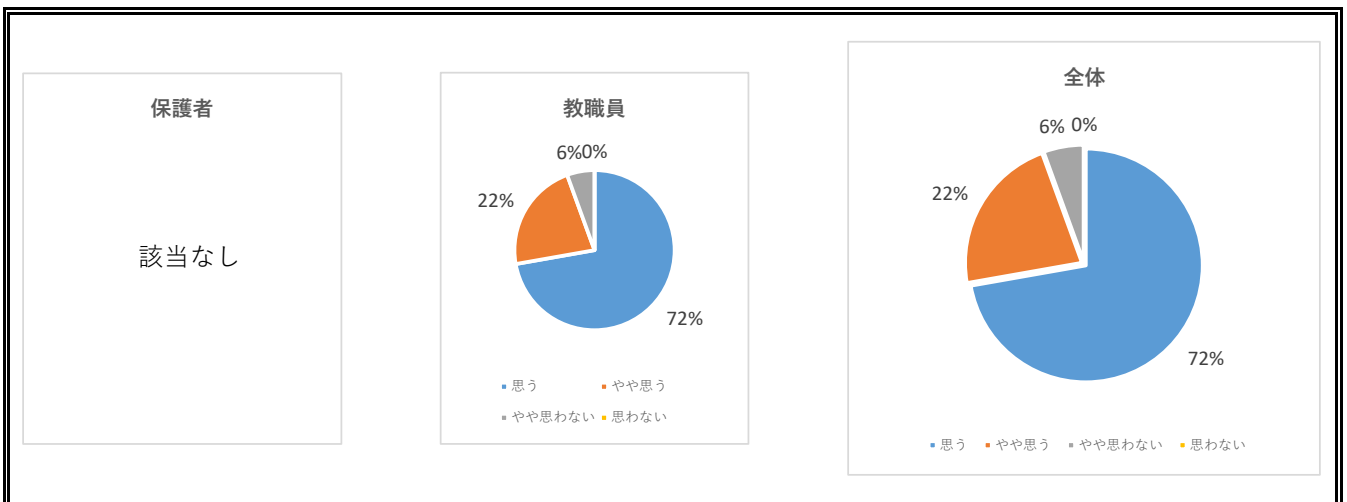
■ 最重点目標 7 感染症予防の推進を含む安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築
Q9

【設問】	感染予防、感染者への対応、感染拡大防止対策等が徹底されていますか。
【取組】	「健光の橋」の発行、感染予防対策マニュアルに沿った実践、病院の感染制御室の指導に基づいた、出勤時における教職員の健康チェック
【評価】	【分析】
◎	感染予防マニュアル、病院の感染制御室の指示に従い、教職員の感染予防対策や、授業で使用する端末や教材や、分教室内の消毒作業を念入りに行い、感染予防に努めています。



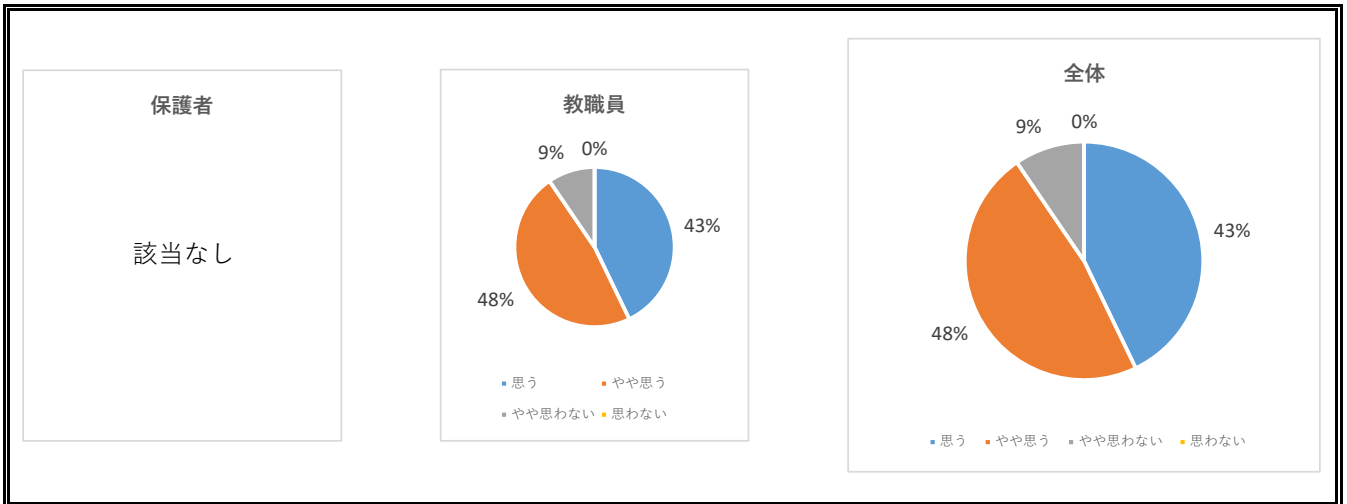
■ 最重点目標 8 進路指導・地域支援・教育相談の充実
Q10

【設問】	両部門の就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導について、学園として東京都立特別支援教育推進室と連携し、就学予定児や児童・生徒本人、保護者へ適切に支援ができていますか。
【取組】	個別の転入・編入相談、各区・東京都と連携した就学相談及び転学相談の実施
【評価】	【分析】
◎	東京都特別支援教育推進室との連携により、就学相談等を行っています。情報共有を的確に行い、進めてまいります。



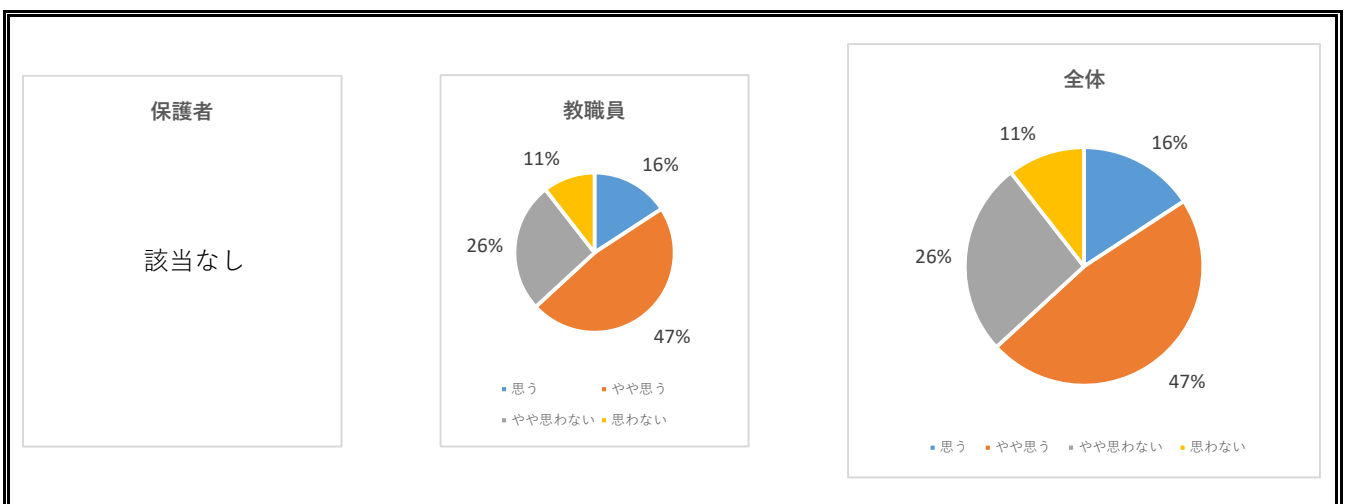
Q11

【設問】	学園として、進路選択・進路指導に関する情報提供や指導の充実が図られていますか。
【取組】	進路だよりの発行（企業就労・通所施設等利用・高等部（高校）・大学等進学情報の発信等）、保護者面談の実施
【評価】	【分析】
◎	進路指導、地域支援については、関係諸機関との連携が不可欠です。連携を強化し、学園生、保護者にとって、よりよい指導・支援をすすめていきます。



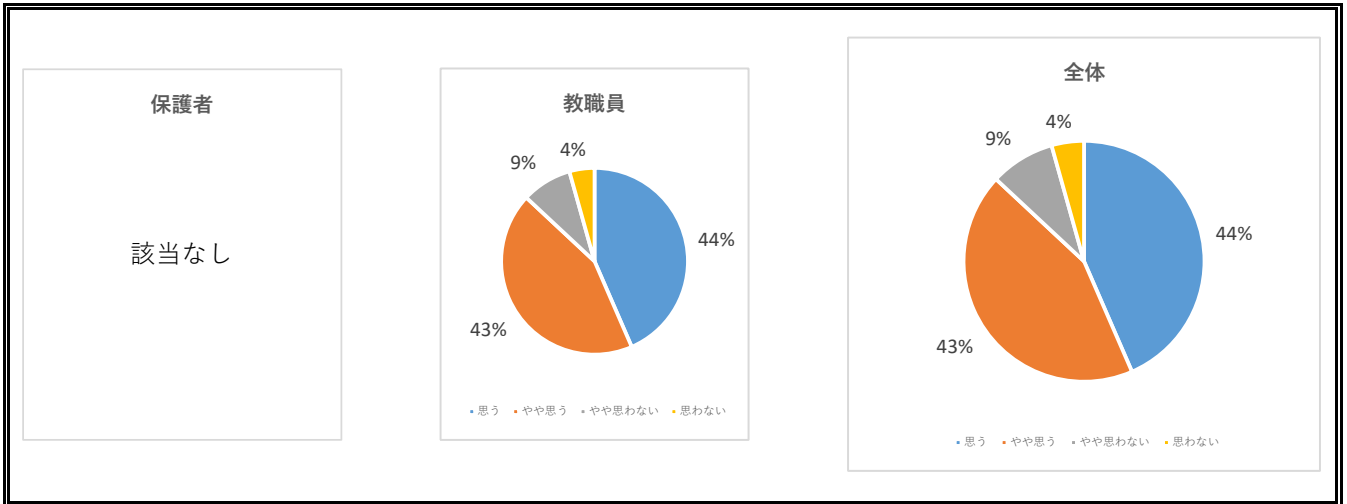
■ 最重点目標 9 ライフ・ワークバランスを踏まえた、働きやすく魅力的な職場環境の創出
Q12

【設問】	ライフ・ワークバランスを踏まえた、働きやすく魅力的な職場環境を創出していますか。
【取組】	職員室のワーク機能の充実、実勤務時間数の自己管理及び校務分担改善による業務量の平準化。メンタルヘルス・ライフプラン構築へのサポート（専門家相談、セミナー、産業医面談）
【評価】	【分析】
▲	産業医による面談を希望する教職員が受けることができます。教職員が健康であることは、学園生への教育にとって大切なことだと考えます。



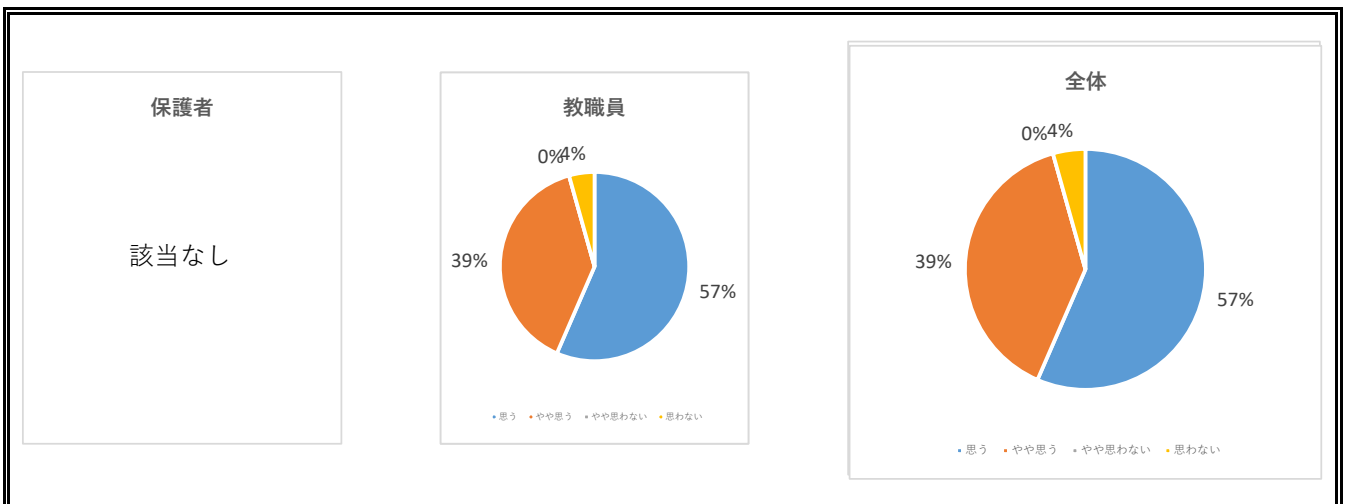
■ 最重点目標10 研究目標：肢・病併置の良さを生かし、社会に即した学園教育の魅力開発と発信
Q13

【設問】	公開研究会において、本校の研究成果を効果的に発信できましたか。
【取組】	全国公開研究会の実施（学力向上の成果、全校読書活動の推進、医療的ケアの充実、授業者支援会議の成果による授業改善、ICT教育の推進（分身ロボット、プログラミング学習、GIGAスクール）、病院内教育の充実、新たな作業種の拡大（2年目）、アートプロジェクトの定着）
【評価】	【分析】
○	全国公開研究会は、今年度も2月にオンライン開催し、全国から300名超の参加がありました。本校の研究成果を発表する場として、定着しています。



■ 別掲1 読書活動の推進
Q14

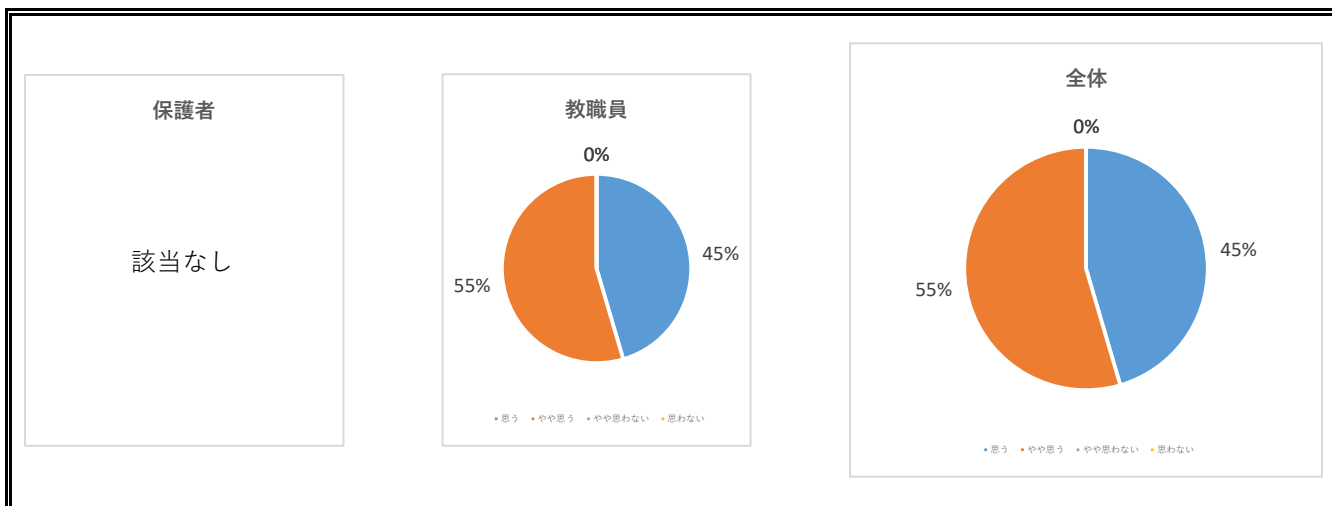
【設問】	都立特別支援学校読書活動の拠点校として、蔵書の整備、貸出システムの構築、読書活動の推進と定着を図ることができましたか。
【取組】	読書活動の推進（読書の配架の工夫、読書月間、蔵書の増加、POPコンテストの実施、図書、新聞を活用した学習の展開、分教室拠点に応じた読書推進）
【評価】	【分析】
◎	病状に合わせた読書活動を進め、学部を超えて交流することができました。図書ラウンジの図書を充実することで、学園生の関心も高まり、読書活動が充実しました。



■ 別掲4 光明アートプロジェクトの推進

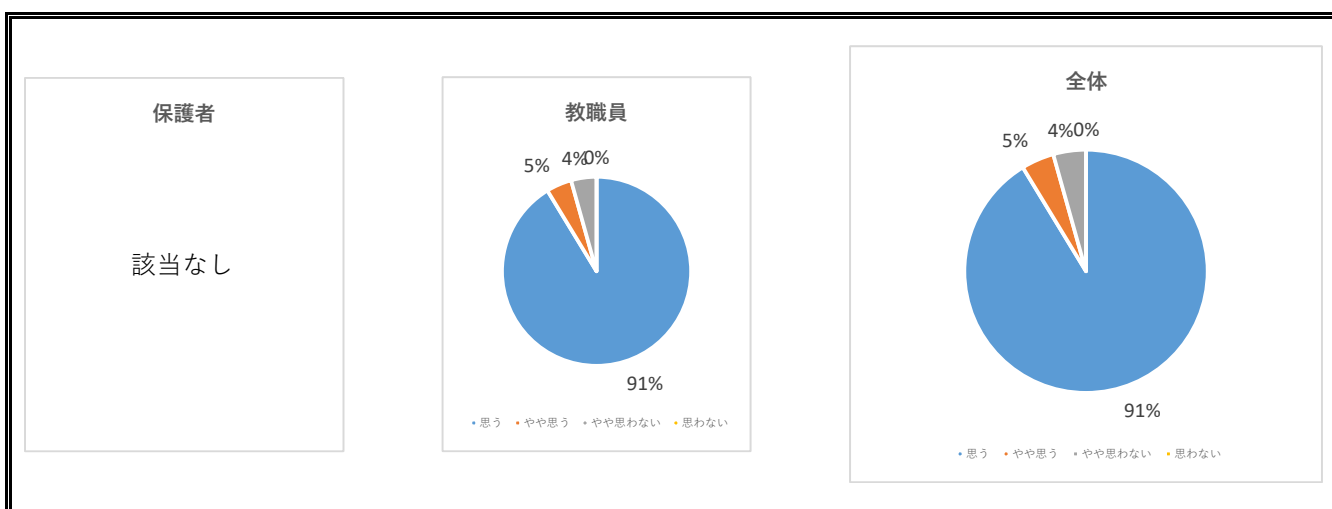
Q15

【設問】	「光明アートギャラリー」の充実、「光美展」「光書展」の表彰など、光明アートプロジェクトの定着、発展が行われましたか。
【取組】	「光明アートギャラリー」の常設、光美展・光書展及び学園生の表彰の企画・運営、学園生作品を活用した学園の魅力化（ガラス描画、自販機ラッピング）
【評価】	【分析】
◎	光美展、光書展に向けて計画的に取り組むなど、光明アートプロジェクトがさらに拡充し、光明学園の特色として、根付いてきています。



Q16

【設問】	学園生の個人情報を保護し、児童・生徒の人権を尊重した業務が進められていますか。
【取組】	電子起案の原則化、クリーンデスクデイの計画実施
【評価】	【分析】
◎	全ての起案を電子起案としています。多くの個人情報に触れることの多い場所だけに、引き続き気を引き締めて対処していきます。



	保護者からの自由意見	回答
1	<p>子供の学習意欲にもっと柔軟に対応していただけると良いなと思います。</p> <p>治療の都合で、午前にはベットサイド授業を選択すると、午後は登校の意欲があるにもかかわらず、ベッドサイド授業を1時間しか受けられないことがある。</p> <p>本や映像の貸し出しも行っていただければ、ゲーム等よりも、もっと有意義な時間が病室で過ごせると感じます。</p>	<p>当日朝、登校、オンライン授業を病棟に確認して指導体制を組んでいます。登校できない場合には2時間のオンライン授業を実施しています。途中で体調が良くなった、治療が早く終わったなどの状況によっては、午後からの登校も可能です。逆の場合には、既に組まれた教員の指導体制を変えて午後のオンライン授業を組むことができませんので、御理解ください。</p> <p>図書については、病院との確認で、感染予防のため病棟への貸し出しができません。授業や休み時間を利用して分教室内で読むこととなります。</p>
2	<p>コロナ禍で制限がある中、授業や発表会などしていただき感謝しております。</p> <p>そよ風分教室に通えるようになってとても良かったと思っています。</p>	<p>ありがとうございます。感染予防に配慮しながら、これからも体験できることを実施していきたいと思っています。</p>
3	<p>様々な面でそよ風分教室の先生方が支えて下さいました。</p> <p>これからも先生方に教えて頂いた知識や、共に過ごした時間を糧に、頑張っ参ります。本当にありがとうございました。</p>	<p>ありがとうございます。私たちも同じ思いです。心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。</p>
4	<p>子供が楽しく興味をもてるように授業をいろいろと工夫していただき、本当にありがたく思っております。</p>	<p>ありがとうございます。入院中であっても学校や学習が楽しくなるように、一人一人の進度や、治療計画や体調を考慮しながら、意欲的に取り組める授業の工夫をしています。今後も取り組んで参ります。</p>